

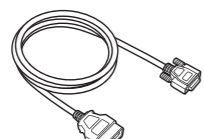
MTG3 クイックスタートガイド

重要:ご使用前に必ずお読み下さい。

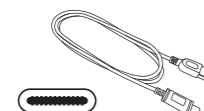
このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。出荷時に診断ソフトはインストールされていません。ユーザー登録・アップデート後に診断を行ってください。

1. セット内容の確認

製品がすべて揃っていることをご確認ください。



□ OBD2ケーブル(1本)



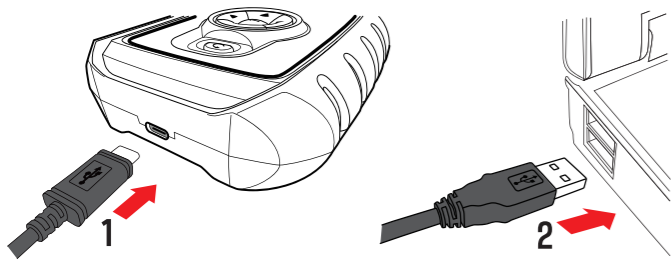
□ USB Type Cケーブル(1本)

- MTG3 本体(1台)
- クイックスタートガイド(本書)(1部)
- キャンニングケース(1個)

- ・万一、不足品や製品の一部が破損していた場合は、お買上げ日から1ヶ月以内にお買い上げの販売店へお申し付けください。
- ・セット内の製品は品質向上のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2. パソコンとの接続とファイルの表示

1. 付属の USB Type Cケーブルを使用して本体とパソコンを接続します。



- ・パソコンとの接続は、必ず付属の USB Type Cケーブルをご使用ください。

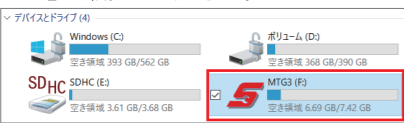
2. 本体が「MTG3」の名称でパソコンに認識されます。



3. 「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックして本体内のファイルを表示します。

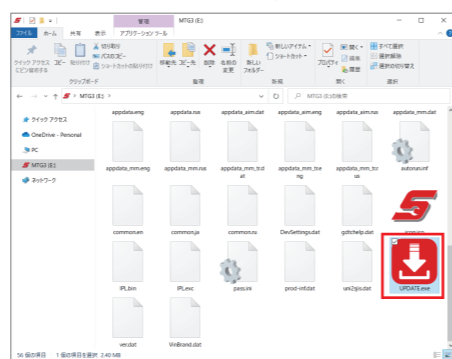


・自動再生が有効でない場合は、PCの「デバイスとドライブ」から「MTG3」を開いてください。

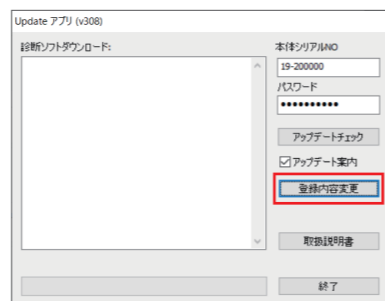


3. ユーザー登録

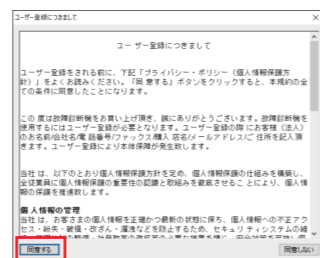
1. 表示されたファイル一覧から「UPDATE.exe」ファイル(.exeは拡張子)を開きます。
※UPDATEプログラムはWindows7以降に対応しています。



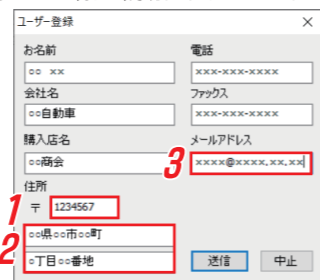
2. 「登録内容変更」をクリックします。



3. 「ユーザー登録につきまして」(プライバシーポリシー)が表示されます。内容を確認して「同意する」をクリックします。



4. 「ユーザー登録」入力画面が表示されます。すべての入力欄にお客様の情報を入力してください。



- 1 〒(郵便番号)は半角、ハイフン無しで入力してください。
 - 2 住所は2行とも埋めてください。
 - 3 メールアドレスは半角英数で入力してください。メールによる認証作業がありますので必ず確認できるメールアドレスを入力してください。
- ※送信の前に「admin@scantool.jp」からのメールを受信できるようにしてください。



5. 入力情報に間違いがないことを確認して「送信」をクリックしてください。(未入力項目があると送信することができません)

6. 正常に送信されると「メールを確認して認証を行ってください。」のダイアログが表示されます。

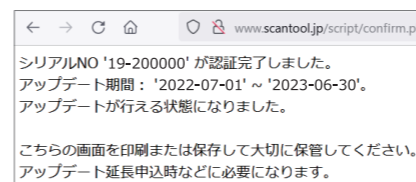
4. 登録受付メールの確認と認証

- 送信後、入力されたメールアドレス宛に登録受付メールが届きます。
- メールの受信フォルダを確認すると「admin@scantool.jp」から「scantool.jp 登録受付メール」が届いています。メールを開いて本文にあるリンクをクリックしてください。



- ・認証確認メールが届かない場合は迷惑メールをご確認ください。
- ・リンクをクリックしてもエラーが表示されたり、アップデート期間が表示されない場合は、登録受付メールを再度ご確認ください。お客様情報を送信された回数分登録受付メールが配信されますので、最新の登録受付メールをご確認ください。

3. リンクをクリックすると、ご使用のブラウザが起動して認証が完了したシリアル番号とアップデート期間が表示されます。



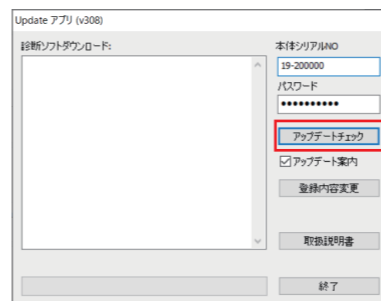
- ・アップデート期間・本体保証期間は登録日より1年です。
- ・登録完了メールは迷惑メールフォルダに振り分けられる場合があります。

4. 以上でユーザー登録は完了です。続いてアップデートを行い、最新のソフトを本体にインストールします。

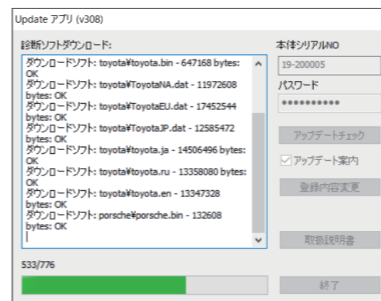
5. アップデート

本体とPCとの接続やアプリケーションの起動は、本書の「2. パソコンとの接続とファイルの表示」からを参考にしてください。

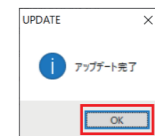
1. 「Update アプリ」の「アップデートチェック」をクリックします。



2. ダウンロードが開始され、本体内に保存されます。



3. アップデートが完了すると「アップデート完了」が表示されます。[OK]をクリックしてアプリケーションを終了してください。



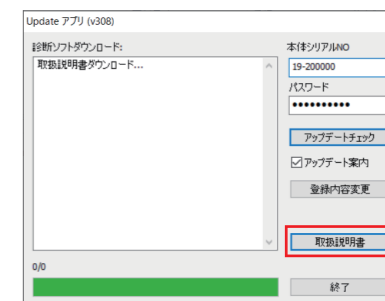
- ・「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトにより外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。
- ・管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認して下さい。

4. 以上でアップデートが完了しました。「ハードウェアの安全な取り外し」を実行した後、本体をパソコンから取り外してください。



6. 取扱説明書のダウンロード

1. 取扱説明書のダウンロードは「Update アプリ」の「取扱説明書」をクリックし、保存場所をご指定いただきダウンロードできます。



注意

セキュリティソフトについて

MTG3をパソコンに接続した場合や、「UPDATE.exe」(アプリケーション)を実行した場合に、セキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除または隔離したり、通信をブロックすることがあります。その場合はセキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

UPDATE.exe (アプリケーション) について

万が一アプリケーションが削除された場合は、下記リンク先よりダウンロードして、MTG3本体内に保存してください。

<http://scantool.jp/downloads/update/UPDATE.exe>

アップデート時のエラーについて

「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが正常に行えない場合は、セキュリティソフトの設定を確認していただくとともに本体内部メモリのフォーマットが必要な場合があります。フォーマット前にアップデート期間内であることをご確認いただき、以下のファイルをパソコンにコピーして保存してください。

- ・UPDATE.exe (アプリケーション)
- ・pass.ini (構成設定ファイル)

保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した2つのファイルを本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

本体保証について

本体保証期間 ユーザー登録から1年間

期間終了後、1ヶ月以内にアップデート期間延長申込みをいただいた場合に限り本体保証も1年延長されます。

7. 各部名称

- DB15ポート**
OBD2 ケーブルを接続します。
- 液晶画面**
各種情報を表示します。
- 矢印キー (▲▼◀▶)**
項目や値の選択、画面スクロールに使用します。
- ENTERキー**
選択した機能の実行などに使用します。
- EXITキー**
中止や前の画面に戻る時に使用します。
- USB TypeCポート**
付属のUSB TypeCケーブルでパソコンに接続します。

8. 画面説明

メインメニュー画面

- 診断**
各種診断を行います。
- 特殊機能**
メンテナンスモード、DPF再生、エーミング、簡易バッテリー計測を行います。
- 履歴**
保存した故障コードやデータなどを表示します。
- OBD II**
グローバルOBD2ソフトで診断できます。
- 設定**
言語や時計などの本体設定を行います。
- 本体ID**
シリアルNo.やアップデート期間、OSバージョンなどを表示します。

▼方向キーでスクロール

全自己診断結果画面

- Batt:**
接続されている車両のバッテリー電圧を表示します。
- 選択カーソル**
選択されている項目欄の背景色が変わり文字が反転して表示されます。
- システム名と故障コードの有無**
左側にシステム名、右側に故障コードの有無が表示されます。コードがなければ「OK」、ある場合は故障コード数+DTCで表示されます。
- ページ数**
ページ数が表示されます。
- 故障コードと内容**
P/C/B/Uで始まる故障コード、メーカー独自コードおよび故障コードの内容が表示されます。
- データ保存**
データを本体内に保存します。[履歴]機能またはパソコンで表示できます。

故障コード表示画面 (詳細表示)

- 現在故障 (1/1)**
C1445
舵角ゼロ点補正未実施

9. 基本操作

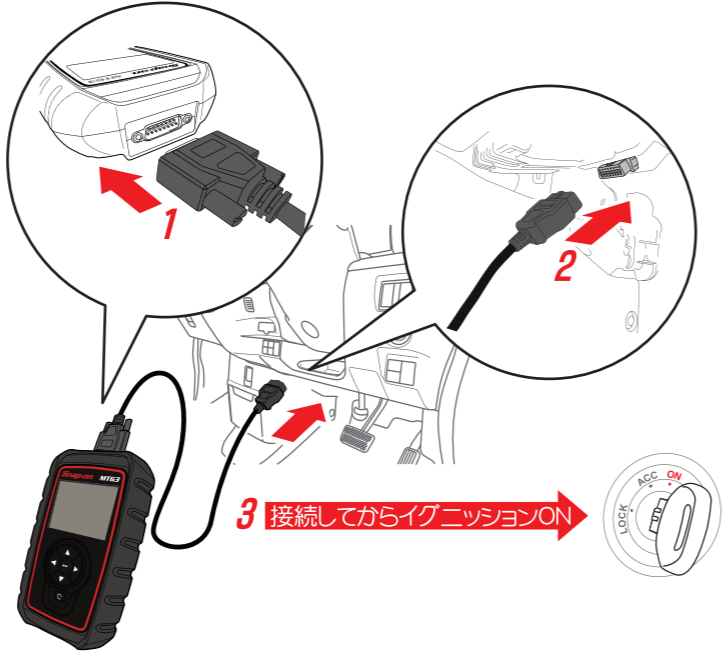
診断を行う場合は以下の手順で操作してください。

- ・ソフトのアップデートを行い、常に最新の状態でご使用ください。
- ・本体やケーブルに破損や損傷などがないか確認してご使用ください。
- ・診断は基本的にイグニッション“ON”の状態で行ってください。
- ・診断がうまくいかない場合はコネクタの接続やイグニッションが“ON”であるか確認してください。
- ・**診断を終了する際は「メーカー選択」画面まで戻りイグニッションを“OFF”にしてください。**
- ・各種作業を行う際は必ず整備書を参考に作業を行ってください。
- ・車両のバッテリー電圧が正常な状態で診断を行ってください。
- ・下の画面の場合は診断ソフトがインストールされていない状態です。本書を参考にユーザー登録とアップデート後、診断を行ってください。



例：全自己診断

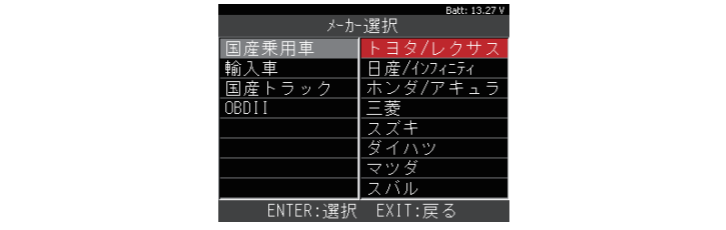
1. 車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。付属のOBD2ケーブルの片側をMTG3 (DB15ポート) に接続します。もう一方を車両のOBD2コネクタに接続してからイグニッション“ON”にします。



2. メインメニューが表示されます。「診断」を選択して[ENTER]キーを押します。
※初期設定直後は先に言語設定画面が表示されます。言語を選択して[ENTER]キーを押します。



3. メーカー選択画面が表示されます。診断するメーカーを選択して[ENTER]キーを押します。



4. 診断ソフトが起動した後「地域設定」などがある場合は、選択して[ENTER]キーを押します。



5. 診断ソフトによっては「自動検出」から診断車両を特定できます。「自動検出」を選択して[ENTER]キーを押します。



6. 「ブランド」「車名」「型式」などを[ENTER]キーを押して順に選択していきます。



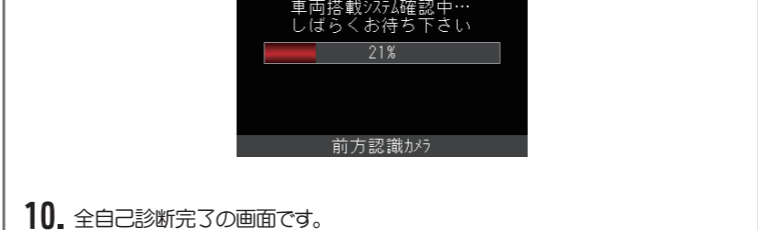
7. 診断ソフトのメインメニューが表示されます。故障コードの読取りは「診断」を選択して[ENTER]キーを押します。



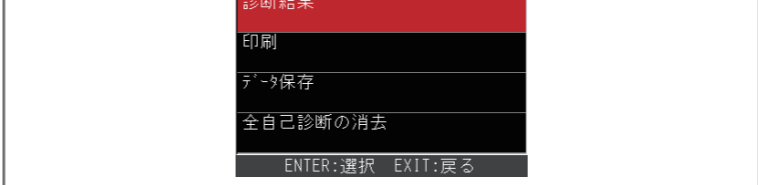
8. 例では全てのシステムを診断しますので「全自己診断」を選択して[ENTER]キーを押します。



9. 車両の各システムの故障コード読取りが開始されます。



10. 全自己診断完了の画面です。「診断結果」「印刷」「データ保存」「全自己診断の消去」の項目から選択してください。

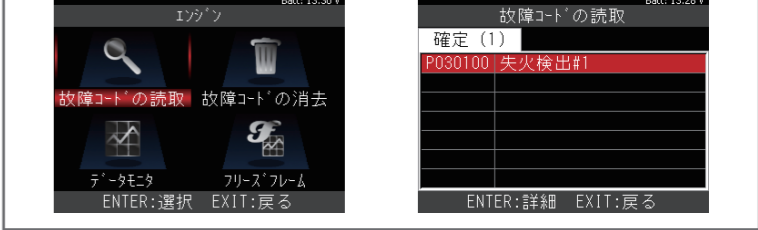


診断結果の表示

1. 故障コードがない場合はシステム名の後に「OK」が表示されます。故障コードがメモリされている場合は故障コードの数が表示されます。(例：コードが2個ある場合「2DTC」)



2. 故障コードと内容を確認するには確認するシステムを選択して[ENTER]キーを押します。続いて「故障コードの読取り」を選択して[ENTER]キーを押します。



診断結果の印刷

1. 診断結果の印刷は「印刷」にカーソルを合わせて[ENTER]キーを押します。



※印刷にはオプションのBluetoothミニプリンタが必要です。
※印刷を実行する前にプリンタの電源をONにしてください。

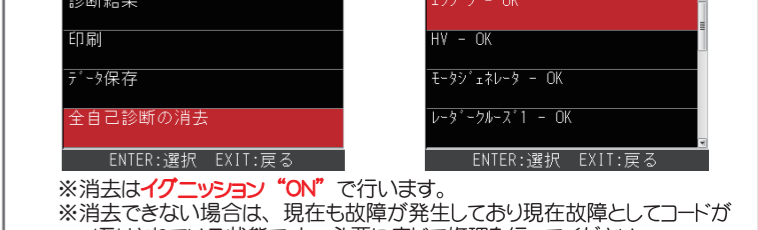
診断結果の保存

1. 診断結果の保存は「データ保存」を選択して[ENTER]キーを押します。「データを保存しました」のメッセージとともに画面中央に保存されたファイル名が表示されます。保存したファイルはパソコンに接続して確認することができます。ファイルは本体内の「Reports」フォルダに保存されています。



診断結果の消去

1. 故障コードの消去は「全自己診断の消去」を選択して[ENTER]キーを押します。各システムの故障コードを自動で消去していきます。



※消去はイグニッション“ON”で行います。
※消去できない場合は、現在も故障が発生しており現在故障としてコードがメモリされている状態です。必要に応じて修理を行ってください。